

グリーンたいむ



発行:グリーンコープ生活協同組合くまもと
<https://greencoop-kumamoto.jp/>

グリーンコープ生協くまもと主催

ウクライナのジャーナリスト講演会 前線地域の人道状況: 私自身の訪問から見えた証言と教訓

9月4日(木)、グリーンコープ生協くまもと本部会議室にて、講演会を開催しました。(約50人参加)

先ず、ウクライナ・ジャーナリスト連盟会長のトミレンコさんが、ロシアの軍事侵攻が3年半も続いている現状を、戦火の中で撮影した数々の写真を用いて報告し、「命と報道の自由を守り、戦争の真実を世界に伝えることが使命」と話されました。続いて、原子力発電所のあるウクライナ南部のザポリージャで独自のオンラインメディアを運営するヴァカーロさんが、「欧州で一番大きい原子力発電所がロシアに接収されているが、周辺には地雷が撒かれ、専門知識のない軍人が掌握しているので、常に危険に晒されている」と訴え掛けました。最後に、ザポリージャの新聞「トルドヴァ・スラヴァ」編集長のカルペンコさんが、「最前線で電気もインターネットもない生活を送っている人々にとって、新聞は『希望のしるし』で命綱のような情報源。支援金で賄って月2回発行し、現地まで持参して3千部を配布している」と、実際に発行された新聞を手に、時に動画を交えて語られました。

「私たちに、今できることは?」との参加者からの質問に講師の皆さんは、「そのように思っていただいたことに感謝します。あなたの周りの身近な人たちに、できるだけ伝えてほしいです。人の痛みを自分の痛みとして感じることができた時、平和が訪れると思うのです。実情を知って、痛みを理解してほしいです」と、手を胸に当て祈るように話されました。

3年前に来熊された際に集まった支援金は、「遠い異国にも応援してくださっている人々がいてくれている」と心理的にも助けられているとも語られました。(「グリーンたいむ」2022年10月号〈vol.260〉参照)



左から、セルゲイ・トミレンコさん、タカヤ・イリナさん(通訳)、オルガ・ヴァカーロさん、スヴィトラーナ・カルペンコさん



くまもとの理事を代表して熊本土産を渡す理事長たち



前列左から4人目は、トミレンコ夫人のオレーナ・マカレンコさん



くるくる回すと踊っているように見えるウクライナの子守り人形「モタンカ」を頂戴しました。

- もくじ
- 1: ウクライナのジャーナリスト講演会報告 / 2: 東・西地域本部のページ / 3: 組合員活動報告のページ / 4: 豪雨災害5年後集会報告 / 5: 組合員のおすすめ商品紹介 / 6: Let's Study!! ワーカー学習会報告 / 7: わたしとグリーンコープ、こんにちは! ワーカーズです、2027カーボンニュートラル / 8: from ネグロス・クリスマスカンバ、キャンドルナイト、グリーンコープでんき関連、電話コーナー、リユース・リサイクル状況、編集者だより

グリーンコープ

グリーンコープは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



© 2010 くまモン

北海道の産直産地 (剣淵・生命を育てる大地の会、 きたそらち農協北竜) 視察・交流会報告



グリーンコープの青果産直産地は、北海道から沖縄まで広範囲に亘って存在しています。2025年度、グリーンコープ連合会商品おすすめ委員会では、北海道で有機栽培や減農薬栽培をされている2つの産地を訪問し、視察・交流を行いました。くまもとからの代表として参加した組合員が、視察の様子を報告します。

剣淵・生命を育てる大地の会（北海道上川郡剣淵町）7月28日訪問

剣淵・生命を育てる大地の会は、環境保全型農業を目指されていて、化学肥料・除草剤不使用の産直四つ葉剣淵のかぼちゃ3種類を栽培されています。この日は、砂田さん、木下さんというお二人の園場を視察しました。



園場へ行くと、まず土壤に驚かされました！鳥の足跡が付くくらい、ふかふかで柔らかく、かぼちゃがすくすく育っていく様子が伺えました。

ウリ科の作物は寒暖差が大きければ大きいほど糖度が増すそうです。また、かぼちゃが地面に接するところにできる黄色い模様「グランドマーク」

は中身の色と比例しており、貯蔵中黄色からオレンジ色へと変化する時には甘みが増している目安になるとのことでした。



きたそらち農協北竜（北海道雨竜郡北竜町）7月29日訪問

きたそらち農協北竜では、「産直赤とんぼ米」（B栽培：きたくりん、C栽培：ななつぼし）を栽培している園場を視察しました。

グリーンコープの農薬の基準は、都道府県の認証では2成分でカウントする農薬も、3成分とカウントされるものもあると聞き、改めてグリーンコープ基準の厳しさを認識しました。

収量を減らさない努力をしながら、安心・安全なお米づくりをしてくださっていることに、深いありがたみを感じました。



この度の視察で、生産者の皆さんが今までにない高温や少雨で大変なご苦労をされている様子が伝わりました。そんな中でも、組合員の喜びの声をパワーの源にされていること、さまざまな工夫をしてくださっていることに、言葉では言い表せないほど感謝の気持ちで胸がいっぱいです。高齢化が進む中ではありますが、どの産地も若い方が後継者として活躍されている姿に頼もしさを感じ、希望が持てる視察となりました。

東地域本部 商品おすすめ活動委員会 委員長 児玉 志野

福岡おもちゃ美術館

「親子で遊ぶ」「文化を伝える」「世代を繋ぐ」美術館。福岡の木を使い、郷土の特色が豊かです。子どもはもちろん、大人もワクワクするおもちゃがたくさんありました。



建物に入ると木の香りが広がります

8月28日(木)、福祉活動委員会は「木育」を目的に「福岡おもちゃ美術館」を視察。また「グリーンコープ 福祉用品店舗 ほっと館」を訪問しました♪



「ほっと館」のスタッフ三島さんよりレクチャーを受けました

グリーンコープ 福祉用品店舗 ほっと館

福祉用品が展示販売されていて、実際にふれることができました。カタログでは分かりにくい部分や、使用方法を知ることができて、購入しやすいと思いました。

from ネグロス・クリスマスカンパ

今年もご協力よろしくお願ひします！

環境委員会

大人も子どもも心が弾むクリスマスが、もうすぐやってきますね！皆さんのおうちでは、どんなクリスマスの準備をされていますか？さて、グリーンコープのクリスマスといえば、美味しいケーキやチキン、そしてもちろん「from ネグロス・クリスマスカンパ」です。

1980年代、世界的な砂糖価格の暴落により、フィリピン・ネグロス島では多くの人々が職を失い、子どもたちも深刻な飢えに苦しみました。その状況を知ったグリーンコープの組合員が立ち上がり、緊急支援として始まったのがこのカンパです。それ以来、毎年クリスマスの時期にカンパを募り、支援を続けています。集まったカンパ金の半分は、APLA^(*)を通じて海外支援に、もう半分は、ネグロスとの民衆交易を支える活動に活かされています。

例えば、これまでバナナを運ぶには、古いレンタルトラックしか使えず、舗装されていない山道を通るうちに、せっかくのバナナが傷ついてしまうことが少なくありませんでした。しかし、皆さんのご支援のおかげで、ついに新しいトラックを購入することができました！バナナの傷つきもぐんと減り、生産者の喜びもひとしおです。これはほんの一例。現地の暮らしを支えながら、私たちは安心・安全な商品を受けることができる…まさに「共生」です。

店舗やキープ＆ショップには、環境活動委員が気持ちを込めて手作りした「from ネグロス・クリスマスカンパ箱」が設置されています。お買い物のついでに、ネグロスと私たちの未来に、ちょっと愛のひと押しをお願いいたします！ご一緒にネグロスの商品をお手に取っていただけたら…とっても嬉しいです♪

委員長 鍋島 貴和子



^(*)APLA…オルタナティブ・ビープルズ・リンクエージャー・アジア。「農を軸とした地域づくり」のためのネットワーク構想を目指して、出会いや交流の場の創造を進める特定非営利活動法人。

グリーンたいむ 読者の皆さん おすすめ商品のシェアをありがとう♪

6月号(vol.289)8面に掲載されたクイズにご回答いただいた、組合員の皆さんのおすすめ商品を紹介します。

✿ ガパオライス用(産直若鶏ミンチたれ漬)

おすすめ商品はガパオライスです。
目玉焼きを乗せて美味しいです。
（N・Tさん）

✿ 小魚せんべい

高齢者も子どもも美味しく骨を育てましょう♪
(ペンネーム: ムーミン娘さん)

産直民衆交易(ネグロス) バナナ

私たちは美味しく安全に食べる、ネグロスの生産者の自立にカンパが使われる、ネグロスの雇用や生活が安定する、みんながワインワインなバナナ。
(ペンネーム: こうしのH口さん)

いんすたんと珈琲 おりじなる

「インスタントなれど味、甚だ美味しい。」とパッケージに書いてありますが、その通り！夏は少量のお湯で溶いて氷をたくさん入れれば、美味しいアイスコーヒーに、**✿**びん牛乳で作れば、お手軽おうちカフェ・オ・レの出来上がりです。一度お試しあれ♪
(ペンネーム: ちょぼマキさん)

✿ 生乳たっぷりヨーグルト

疲れた時はこのヨーグルトの優しい食感と甘さに癒されています。
(ペンネーム: たどたどさん)

✿ トマトケチャップ

✿トマトケチャップ以外のものを使ったことなし。濃厚でトマト味そのものが気に入っていて、妹たちにも送っています。
※一人暮らしで多くは必要ないですが、安心で味も良いので利用しています。
(C・Dさん)

✿ こだわりのひとくちこうや だし付

煮物を作る時、煮汁を吸いとつて美味しいになります。
常温で保存できるので常備しています。
(H・Kさん)

✿ らくらく酢

かけてもよし
つけ汁にしてもよし
使いがってがよく重宝します。
(H・Oさん)



豪雨災害5年後集会 あの日(2020年7月4日)からの5年を振り返る

グリーンコープは、令和2年7月豪雨災害発生直後から支援活動に取り組んでいます。5年が経過する中で、当時を振り返り、支援いただいた方へ感謝の思いを伝え、また、これまで地域の復興に向けて力を合わせてきた皆さんのが集まる場を設けることを目的に、「5年後集会」を人吉市で開催しました。

5年前の豪雨の時は完全に水没し復旧にも長い時間のかかった中川原公園(球磨川の中州)に作られた公園で豪雨災害5年後集会として行われた「夜のピクニック」は、予想を超える400人の来場者で賑わいました。

ともいえる中川原公園(球磨川の中州)に作られた公園で豪雨災害5年後集会として行われた「夜のピクニック」は、予想を超える400人の来場者で賑わいました。長い時間のかかった中川原公園で、みんなが笑顔で楽しい時間を過ごすことができたことは喜びにたえませんでした。また、来場者の中には「あの時はグリーンコープさんにお世話になった」と感慨深げに言われる方も多く、発災直後から現在に至るまでグリーンコープが地道に続けている災害支援が地域に認められていると、改めて感じることもできました。

今回のイベントは単協としての開催で、多くの人に参加してもらえたことも、私たちにとっては大きな喜びでした。〇〇長と肩書のつく人たちが率先して唐揚げを揚げ、焼きそばを焼き、駐車場整理をする。グリーンコープにいと「当たり前」のようになっていたそんな光景に、ワーカー歴が短く、単協あげてのイベントの経験がなかつたヒトハレの新入ワーカーは、とても驚いていました。

そんなグリーンコープだからこそ、あれだけの手厚い災害支援もなし得たのだと、改めて知ることができた今回のイベントでした。

代表 御園 豊子
ワーカーズコレクティブ ヒトハレ



よさこい盆踊りの様子(写真中央)

